

柔道グランドスラム大阪2019にコスタリカ選手が出場！

11月22～24日に大阪で行われた柔道グランドスラムに、イアン・サンチョ選手（兄・66kg級）、フリアン・サンチョ選手（弟・73kg級）、ディアナ・ブレネス選手（女子78kg級）の3人が出場しました！サンチョ兄弟は以前松川町で交流したことがあり、23日のフリアン選手の試合は町民19人で応援しました。



会場の丸善インテックアリーナ大阪



国旗を持って大きな声援を送る



フリアン選手（右）

GO! GO!
がんばわー!



再会を喜ぶ選手と子ども



イアン選手（左）

結果は残念ながら3人とも予選敗退でしたが、フリアン選手は試合中に負傷するアクシデントがあっても全力で粘りました。試合後にはサンチョ兄弟と交流ができ、参加者と笑顔で握手をしたり、写真を撮ったりする場面がありました。フリアン選手は「皆さんの声援が聞こえて、良い気持ちで試合に臨めました」と言い、イアン選手も「来年も各国で国際大会が続きますが頑張ります」と今後の意気込みを語ってくれました。

● 参加者の感想 ●

- ・世界、それも五輪に通じる大会を初めて見てとても良い体験でした。臨場感ある会場での雰囲気を選手、関係者の方と一緒に感じることができ感動でした。
- ・選手と話ができて良かった。コスタリカを徐々に身近なものにしていきたい。
- ・結果は残念だったが、みんなの応援が届けられて良かったと思う。
- ・コスタリカを紹介するだけでなく町民が自主的に参加できたので良かった。



上片桐演芸祭でトルティーヤとコスタリカ展示

11月2日、上片桐演芸祭で、トルティーヤとピカディージョのほか、展示でもコスタリカを楽しんでいただきました。国紹介や動物クイズは、さまざまな年代の方に興味を持っていただけました。

また、伝統のかぶり物も、子どもたちが喜んで試していました。



トルティーヤはボリューム満点！



これは何の動物？



だ～れだ？

これはマスカラダスという伝統的なかぶり物です。妖怪や有名人を模したデザインが多いかな。本当はもっと怖い顔なんだけど、子どもが泣かないよう可愛くなってるよ。



*ホストタウンとは、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA（※）研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

（※ JICA = 独立行政法人国際協力機構）



2020東京
オリ・パラ

ホストタウンニュース No.24

飯田国際交流の夕べ 中学生がコスタリカをPR



↑率先して動く中学生たちのおかげで大成功！

12月8日、飯田市で開催された「国際交流の夕べ」に、松川中の生徒3人とコスタリカブースを出展しました。ブースでは民芸品の展示と料理提供を行い、料理は開始直後にあっという間になくなってしまいました。大勢の方に「美味しい」と喜んでいただきました。

また、中学生はステージ上での国紹介にも挑戦。自分たちで内容を考え、堂々と発表しました。

第5回スペイン語教室 修了おめでとうございます！

12月11日、今期のスペイン語教室を修了しました。コミュニケーションコース（会話中心）とテキストコース（文法中心）、約30人の方にご参加いただき、皆で楽しくスペイン語にふれることができました。なかなか使う機会がない言葉ですが、「コスタリカや他の国にも興味がわいた」「旅行で使いたい」「もっとレベルアップしたい」など、意欲的な声をたくさんいただきました。



↑自分の背中のイラストが何か、ヒントを聞いて当てよう！



↑グループでお買い物。限られたお金で必要な食材・物を調達しよう！



↑動詞の現在形・過去形など、習った文法を使って語らおう！

第2回プラビダ会 コスタリカ講演会を開催しました！

12月18日、在コスタリカ大使館一等書記官の河本秀夫さんをお招きして、「コスタリカにおける日本文化とスポーツ交流」というテーマで講演会を開催しました。

コスタリカで日本の伝統文化やマンガ・アニメなどのポップカルチャーは大人気で、文化イベントには大勢の方が来場すること。また、東京2020に向けて、スポーツ面での協力も強化しており、卓球台の寄贈や日本人選手の派遣など、親交を深めているそうです。



↑参加者からの質問もとまりませんでした



*ホストタウンとは、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA（※）研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

（※ JICA = 独立行政法人国際協力機構）



2020東京
オリ・パラ

ホストタウンニュース

No.25

小・中学生がコスタリカの選手を手紙で応援！

中央小、北小、中学校の児童・生徒が、コスタリカへエールを送るため、絵はがきを書きました！オリンピックやパラリンピック、コスタリカについて学習したあと、「がんばれ」「松川で待っています」など心を込めてメッセージを考えました。競技やメダルの絵を描いたり、カラフルにしたり、一人一人素敵な手紙ができました。



オリ・パラやコスタリカについて学んだよ

この手紙は、3月開催のコスタリカスタディツアーに参加する高校生が、現地で選手・オリンピック委員会に手渡します。

※「私も手紙を送りたい」という方は、2月29日までに公民館までご連絡ください。



手紙の書き方を知ろう



中学生は英語で。Very good!



選手に届くのが楽しみだね！



カウントダウンビデオ出演者募集！



今年7月より開催されるオリンピック・パラリンピックに向けて、カウントダウン動画を作成します！動画はチャンネル・ユーで放送されるほか、町や在コスタリカ大使館のFacebookでも見られる予定です。オリンピックイヤーを記念して、皆さんも出演しませんか？

- 内容：カウントダウンボードとともに、今頑張っていることや目標、コスタリカへの応援メッセージをビデオにする（30秒ほど）
- 対象：松川町在住または在勤・通学の方などなたでも
- 募集枠：30枠（一人でも大勢でもOKです）
- 撮影期間：7月まで随時
※ご希望の日時にチャンネル・ユー職員が撮影に伺います
- 放送期間：2月～8月（予定）

問合せ・申込み：中央公民館 ☎36-2622 申込み締切：3月31日（火）

コスタリカ新大使着任



宮下町長とサラス大使

12月24日、宮下町長、高坂教育長が新任の駐日コスタリカ大使のサラス大使を訪問しました。

サラス大使は日本滞在歴も長く、日本の文化・歴史に精通し、とても親日な方です。ホストタウン交流についても、今後変わらないご協力をいただけることになりました。



*ホストタウンとは、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※ JICA = 独立行政法人国際協力機構)



2020東京
オリ・パラ

ホストタウンニュース No.26

オリンピック講演会「勝敗目標ではなく、プレー目標を大切に」

1月29日、中央小の全校児童を対象にオリンピック講演会を開催しました。講師はアテネ五輪ハンマー投げ代表の室伏由佳さん。成果が出ず悩んだ時期もありましたが、相手に勝つ目標ではなく、どれだけ自分らしいプレーができるかを目標にし、常に平常心を心掛けたそうです。そうして大会でも好成績を残すことができ、アテネ五輪代表決定につながったと経験を話してくれました。



講演会後は室伏さん指導のもと実際に体を使ったアクティビティを楽しみました

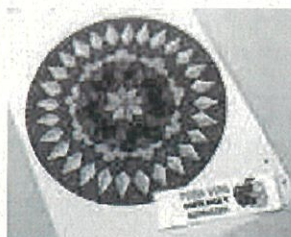
児童の感想

- ・お話の中で「あきらめない、決めつけない、思いこまない」という言葉が印象に残っています。
- ・私も目標を立てて勉強を頑張りたいと思いました。

ぬり絵でコスタリカ伝統アートに挑戦！

2月1日、コスタリカのデザイナー、カタリーナさんを招いて、ぬり絵を通じた伝統アート体験を行いました。カラフルな幾何学模様を目を惹かれ、28の方が参加。一見すると複雑なデザインも、カタリーナさんが丁寧に説明してくれ、一人ひとり素敵な模様が完成しました。

最後は、国旗や花、動物などコスタリカならではのモチーフが描かれたしおりも作成しました！



生田地区でカタリーナさんがコスタリカを紹介



華やかな衣装や大きなピアスに子どもたちも興味津々でした

2月2日、生田地区芸能文化祭にカタリーナさんが参加しました。ステージで民族衣装を披露したり、家庭料理「ブディン（フランスパンを使った焼き菓子）」をふるまったりして、コスタリカ文化を紹介し、地域の方や子どもとの交流を楽しみました。



*ホストタウンとは、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※ JICA = 独立行政法人国際協力機構)



2020東京
オリ・パラ

ホストタウンニュース No.27

子どもたちが厳選！ホストタウンフレーム切手

3月16日、松川町とコスタリカのホストタウンを記念したオリジナルフレーム切手がお披露目されました。



切手贈呈式

切手は万国共通のもの。手紙離れが進む昨今ですが、この機に切手を手に取っていただき、交流の一助となれば嬉しいです。
(大島郵便局長)

コスタリカの風景や動物の写真だけでなく、松川町やホストタウン交流の写真も用いられたお互いの様子が伝わるデザインに。コスタリカの写真は、数ある中から中央小・北小の児童が投票で選んでくれました！



切手は町内郵便局や清流苑、インターネットで購入することができます。東京オリパラ・ホストタウンの限定品。ぜひ記念に一枚いかがでしょうか？

JICA 海外協力隊 候補生が地域で活躍

1月25日から約1カ月半、駒ヶ根市で派遣前訓練に参加していたJICAボランティア候補生9人が松川町で「地域実践」に取り組みました。

「地域実践」とは訓練の一つで、候補生が地域団体に入り、そこで課題分析・企画・実践などを行い、地域貢献するとともに、その経験を派遣国での活動にも活かす、というものです。候補生は年齢・経歴・派遣国・職種もさまざまで、それぞれの持ち味を活かして取り組み、地域活動に新しい視点を加えてくれました。

受入れ先①
ホストタウン事業

町の国際交流促進のための基盤づくり



町内や公共施設を視察。外国の方も快適に過ごせるよう多言語化。



町民との意見交換会。現状と課題を把握し、ニーズを調査。



機運醸成をねらった交流イベントとしてボッチャ体験会を企画。

受入れ先②
味の里まつかわ

農産物加工を中心に6次産業化事業の活性化支援



よつかど市にて販売支援。商品の拡大写真や紹介ポップを作成。



駒ヶ根訓練所内で初めて販売。販路開拓となり今後も継続予定。



既存の商品を活かした新メニューの開発・提案。



*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※ JICA = 独立行政法人国際協力機構)



2020東京オリ・パラ **ホストタウンニュース** No.28

2021年に向けて「松川町はホストタウン」

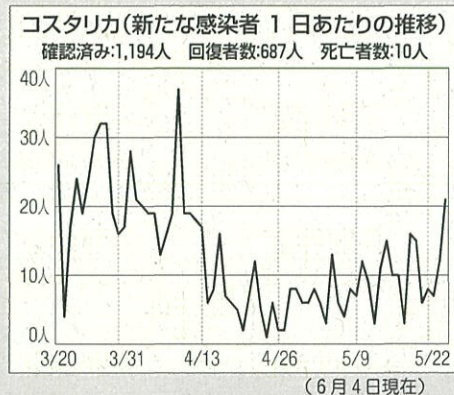
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、東京2020オリンピック・パラリンピックが2021年夏に延期となりました。これまで町は、ホストタウンとしてコスタリカとの交流や選手応援を続けてきましたが、それは延期となった今も変わりません。こんな時こそ世界とつながり、大きな視野で物事を捉え、行動できる人材を育んでいきます。

コスタリカのコロナ対策と現状

抑止成功:軍撤廃し、教育・福祉を充実させた成果

コスタリカでは3月6日に1人目の感染者が発見されてから、大規模イベントの禁止や在宅勤務をはじめ、学校休校、飲食店の営業規制、観光地や空港の閉鎖、自動車利用制限などの対策をとってきました。外出時間も定められ、規則を破ると罰則があることも…。

しかし多くの国民はこの政策を守り、感染者数・死者数ともに周辺国に比べ低い数字で抑えられています。国予算を、軍事ではなく教育・福祉に投資してきた成果だと、世界からも評価されています。



コスタリカからのメッセージ

松川町で交流したことがあるコスタリカの方々から温かいビデオメッセージが届きました。遠く離れた国から、日本や松川町を心配してくれる人々がいます。一緒に頑張っていきましょう！ ※ビデオはチャンネル・ユーにて放送されました



イアン選手(左)、フリアン選手(右)
 柔道家/2018年3月来町
 (町民と柔道交流、大会応援観戦など)

松川町の皆さん、こんにちは。
 いま、世界は大変苦しい状況にあります。しかし、私たちはお互いに助け合い、この状況乗り越えることができます。またお会いしましょうね。
 がんばろう！！



カタリーナさん
 デザイナー/2020年2月来町
 (伝統アート教室、生田芸能祭など)

以前から日本は何度も災害を克服しましたね。今も、日本なら絶対にできると思います！そしてコスタリカも日本も、これからは頑張っていき、2021年の東京オリンピックのとき、ぜひ松川町で会いましょう！
 Pura vida !



ファビアンさん
 日本語教師/2017年12月・18年2月来町
 (中米交流パーティー、ふるさと味まつりなど)



松川町での交流は良い思い出で、皆さん元気な、と心配しています。世界中の人々は、コロナを乗り越えるというチャレンジの中において、皆の心はつながっていると思います。コスタリカ人は皆、日本の皆さんと心がつながっています。これからも色々大変ですが、どうか頑張ってください！私たちが頑張ります！



*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※JICA=独立行政法人国際協力機構)



2020東京オリ・パラ ホストタウンニュース No.29

「オンラインdeスペイン語教室」ってどんな感じ？



オンライン会議アプリで受講生は自宅から参加。オリジナル教材のほか、写真や動画を共有して授業を進めます。



皆さん、お久しぶりです！画面越しでも、みんなの顔を見ながら話ができるのは嬉しいです。

新型コロナの影響で、今まで公民館で行っていたスペイン語教室もオンラインに変更。5月中旬から文法コース・会話コースの2つがスタートし、それぞれ10人ほどの方が受講しています。

講師も受講生も初めての試みで戸惑いもありますが、皆で新しいことにチャレンジできることは、いつもと違う楽しみがあります。



↑文化と言葉、両方学ばよ

参加者の声

- ・こんな状況でもなかったら、オンライン授業なんて受ける機会がなかったと思うから、新しい取り組みでワクワクしますね。
- ・久しぶりにスペイン語に触れられて、また勉強できることが嬉しいです。

スタディツアー高校生がコスタリカとオンライン交流

今年3月に予定していたコスタリカ・スタディツアー。残念ながら現地訪問はかありませんでしたが、オンラインで新たな交流が生まれています。



特技のマジックを見せるよ！

「身近な青い物」みんな何を持ってるのかな？

参加者の声



松尾心花咲さん(高校2年)

コスタリカの人とたくさん話せて楽しかったです！外国の人と話す経験は全然なかったけど、共通の話題や自分の国のことを話していると、思った以上にすごく盛り上がったので良かったです。

交流の相手は、コスタリカで日本語を学ぶ学生や社会人。高校生たちは、今までの事前学習で学んだことを活かしながら、松川町の紹介をしたり、コスタリカのことを質問したり、会話を楽しみました。次回交流会では、相手の好みや希望に沿った日本旅行・コスタリカ旅行のプランを提案する予定です。



*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※JICA=独立行政法人国際協力機構)



2020東京
オリ・パラ

ホストタウンニュース No.30

「国際交流クラブ」で世界を広げよう！

ホストタウン事業では、コスタリカとの交流をきっかけに町の国際交流・異文化理解の促進を目指しています。その一環で、今年度から中学生対象の公民館文化クラブに「国際交流クラブ」が誕生。「海外に興味がある」「外国の人と関わりたい」という生徒が集まり、世界につながるさまざまな活動に取り組んでいます。



世界の国旗で旅をしよう！



世界中の国旗を見比べ、一人ずつ気になる国旗を選んで調べました。国旗以外は名前も場所も知らない国。アフリカ、中東、中南米、オセアニアなど地域もさまざまで、「人口や言語、特徴も全然違って面白い」「日本と接点があり驚いた」など多くの気づきがありました。



外国の料理を作って食べてみよう！



ALTのジニー先生にアメリカや中南米でよく食べられている料理を教わりました。給食にも出るという「マカロニチーズ」と、ブラジル発祥の甘いお菓子「プリガディオ」に挑戦。英語を使いながら楽しく作った料理は一段と美味しく感じましたようです。



JICA駒ヶ根訓練所でリアルな世界を知ろう！



駒ヶ根にある青年海外協力隊訓練所（JICA駒ヶ根）を訪問し、モルディブで体育隊員として活動されていた方や、スペイン出身の語学教師の方に、外国の実情を話していただきました。

なぜ協力隊に？



モルディブの体験談

どんな国？

学校の様子は？



日本との違いは？

スペインの文化・生活



訓練は何をするの？

施設見学

生徒の感想

- ・教科書にないリアルな話を聞いて、まだまだ知らない世界があるんだと気づきました。
- ・自分で調べるだけでなく、現地をよく知る人から話が聞けて良かったです。
- ・モルディブの「人を否定せず受け入れ、優しく接する」という文化は大切だと思いました。
- ・「海外」と言えば、アメリカやヨーロッパなどの先進国を思い浮かべていましたが、発展途上国にも興味がわきました。もっといろいろな国を知りたいです。



松川町はホストタウン



コスタリカを応援しよう！

*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※JICA=独立行政法人国際協力機構)



コーヒーで医療従事者の方に安らぎを



グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラガ、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国の大使、外務省、内閣官房が参列

また、各国大使からホストタウンの医療従事者の方々へ向けて、特産であるコーヒーをご寄贈いただきました。松川町へはコスタリカのサラス大使から「大変な状況ではあるが、このコーヒーでほっと一息ついてリラックスしてほしい」とお言葉がありました。その後、10月5日に宮下町長から松川町医歯会の宮澤会長へコーヒーが贈呈され、町内医療機関へ届けられました。

9月15日は、コスタリカを含む中米5カ国の独立記念日。SICA(中米統合機構)と日本の友好25周年も合わせ、計7カ国の大使が集まり、東京で記念式典が開かれました。当日は、各ホストタウン自治体もオンラインで参加し、松川町からは久保副町長が挨拶を述べました。

医療現場は予断を許さない状況が続いています。このような心温まる贈り物をいただき、大変嬉しく思います。



贈呈式にはサラス大使もオンラインで参加。

県内連携「ホストタウン写真リレー」開催

長野県では15の自治体がホストタウンに登録されており、それぞれが相手国との親交を深めてきました。しかし、コロナ禍で思うような交流ができない状況に…。そこで、こんな時こそ地域にも世界にもつながる取組みができればと、県内のホストタウン自治体が連携した「ホストタウン写真リレー」を計画しました！



コスタリカ展示写真より

約2週間ごとに、8つの相手国の写真を参加自治体間でリレーしていきます。県内ではどのような国とつながりがあるのか、その国の風景や人物、またホストタウン交流の写真から、世界を身近に感じてもらえれば嬉しいです。中央公民館えみりあ館内に展示しますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください！

松川町での展示スケジュール

展示期間	国(ホストタウン自治体)
10/1~10/14	コスタリカ(松川町)
10/15~10/28	カナダ(岡谷市)
10/29~11/11	オーストリア(安曇野市)
11/12~11/25	ウガンダ(立科町)
11/26~12/9	エストニア(佐久市)
12/10~12/23	モルドバ(東御市)
12/24~1/13	ハンガリー(千曲市)
1/14~1/27	中国(長野県、長野市、上田市、須坂市、飯山市、下諏訪町、山ノ内町)



*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※JICA=独立行政法人国際協力機構)



2020東京オリ・パラ ホストタウンニュース No.32

オンラインでマリンバコンサート

10月31日、コスタリカ伝統楽器マリンバ(木琴)のコンサートをオンラインで開催しました。当日は、公民館、社協、参加者の自宅などさまざまな場所からコスタリカとつながり、約35人の方がリアルタイムで演奏会に参加しました。



コスタリカの自宅から演奏してくれたファンさん



公民館では大きなスクリーンに映像を映して鑑賞しました

ゲストはマリンバ奏者や講師として活動するファン・ロサレスさん。披露された3曲の中には、日本の「さくらさくら」をもとにした作品もあり、親しみやすく、楽曲も木琴の音色も楽しめました。

演奏後は、ファンさんとのトークタイムも。彼の温かい人柄に、会場も和やかな雰囲気でした。

●参加者の感想●

- ・マリンバの音色はとても心地よく、いやされました。
- ・交流の時間があり、ファンさんとお話できて良かったです。
- ・マリンバがどんな楽器か知りませんでしたが、その楽器の音色を遠く離れていても感じる事ができました。オンラインで国を越えてつながるって素晴らしい。
- ・いつか日本に来てもらい、生演奏を聴きたいです。

いつか日本で演奏したいです。また会いましょう!



小学校でコスタリカ国旗づくり

11月の駐日コスタリカ大使来町に合わせ、大使とオンライン交流を行う中央小2年生と北小3年生。歓迎の気持ちを込めて、コスタリカの旗を手作りました。コスタリカの国旗や、松川町とコスタリカの友好のシンボル「りんごとナマケモノ」などが描かれています。

それぞれオリジナルの素敵な旗ができました。交流会では町や学校生活に関するクイズを大使に出す予定。楽しみですわね!



スペイン語で「Bienvenido(ようこそ)」や「コロナに負けるな」など応援の言葉も。りんごは松川町らしく赤・黄色・黄緑などいろいろな種類が出来上がりました。



*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※JICA=独立行政法人国際協力機構)



2020東京
オリ・パラ

ホストタウンニュース No.33

ようこそ松川町へ！新コスタリカ大使が初来町

ホストタウン交流の より一層の発展を

11月1日から3日間、駐日コスタリカ大使館のサラス大使ご夫妻をお招きし、町内視察・交流・講演会を行いました。関係者との会談では、大会後も長く続く交流を目指すことで一致し、今後の方針を話し合いました。



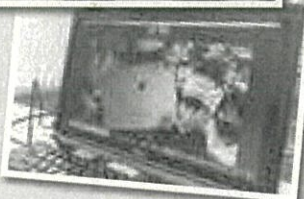
視察先でもコスタリカとの
つながりを実感



本当は直接会いたかったけれど、リモートで会えたから良かったです。コスタリカは日本と全然違って面白かったです。



大使夫妻にクイズを出す児童たち



中央小と北小が オンラインで交流

中央小2年1組と北小3年生がオンラインでつながりました。児童は「オラ！（こんにちは）」「ビエンベニード（ようこそ）」など覚えたスペイン語とオリジナル国旗で大歓迎！大使からはスペイン語の紹介やコスタリカのクイズ、児童からは松川町のクイズが出され、お互いに交流を深めました。

スタツア高校生が 発表と体験で町紹介

君たちは若い。まだまだチャンスはあるので、その時まで学びを深めていってください。

今年3月にコスタリカを訪問予定だった高校生が、現地のために用意した町の紹介を発表。自慢のりんごも食べ比べしていたと、「こんなに多くの種類があるんだ！」と驚かれていました。



3日間を終えて…

松川町の自然豊かな環境に、コスタリカを思い出し心が安らぎました。何より、どこへ行っても温かい歓迎を受け、とても感動しました。選手らは国や家族と離れ大会に臨みますが、皆さんの応援が大きき力になります。このご縁を長く続けられるよう、これからも連携し、一緒に取り組んでいきましょう！



コロナの収束を願ったコスタリカへの千羽鶴



*ホストタウンとは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本政府の取組みで、スポーツ立国、グローバル化の促進、地域活性化、観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体のことをいいます。

*現在、全国で400以上の自治体がホストタウンになっています。松川町は2016年12月、JICA(※)研修員の受入れなどで縁のあったコスタリカのホストタウンに登録されました。スポーツ・食・教育・農業などさまざまな分野で交流活動を行っており、コスタリカ選手を応援しています。

(※JICA=独立行政法人国際協力機構)

